

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下	目標収量：4,000kg ~ 3,000kg (10a) 秀品：90%以上															
栽培体系	<p>○：種いも準備 ▲：植付け ■：収穫</p> <p>収穫は天候にもよるが春先まで可能</p>												<p>○種いも量 340~450kg(10a)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トロフィー種の種いもの大きさは40g前後のものを準備する。 ・頂芽を付けたまま植付けする。 <p>○栽植密度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うね幅 110~120cm 株間 15~25cm <p>施肥基準 (10a)</p>															
病害虫													<table border="1"> <thead> <tr> <th>資材名</th> <th>基肥(現物量kg)</th> <th>追肥(現物量kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>磷加苦土安1号</td> <td>200kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦土石灰</td> <td>60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ようりん</td> <td>60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磷硝安加里S604号 または NK化成808号</td> <td></td> <td>120kg</td> </tr> </tbody> </table>	資材名	基肥(現物量kg)	追肥(現物量kg)	磷加苦土安1号	200kg		苦土石灰	60kg		ようりん	60kg		磷硝安加里S604号 または NK化成808号		120kg
資材名	基肥(現物量kg)	追肥(現物量kg)																										
磷加苦土安1号	200kg																											
苦土石灰	60kg																											
ようりん	60kg																											
磷硝安加里S604号 または NK化成808号		120kg																										
栽培上のポイント	<p>1. 植付け準備</p> <p>①種いもの準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種いものは形質が悪いものや病気のものを使わない。健全な無病の種いもを選定する。 ・植え付ける前は種いもを日に当てないようにし、腐敗防止のために切り口は十分に乾かしコルク化させる。 ・植付け20日前に、25℃の床に伏せ込み、芽が小豆大になるまで催芽する。 ・根腐病などの予防に種子消毒を行う。所定の薬剤に浸漬し、半日程度陰干してから植え付ける。 <p>②畑の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植付け予定位置をトレンチャーで深耕する。幅20cm、深さ100cmとし、空洞ができないように注意しながら埋め戻しをする。植付けの15日前まで作業を終え土を落ち着かせる。 ・堆肥を施す場合は、前作または前年の秋までに行い、障害の発生が起こらないようにする。 			<p>2. 植付け(定植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均気温が10℃以上になったら植付けを始める。 ・覆土は12cm程度とするが、萌芽処理をしない場合は6cm程度とし、2~3週間後にさらに6cmの覆土を行う。 <p>3. 植え付け後の処理</p> <p>①支柱立て・芽かき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽が10~20cmほど伸びたら支柱・ネットを張る。(この時期は、主根の先端が通路に達した頃になる。) ・芽が2本以上出ている場合は太い芽を1本残し、弱い芽はかき取る。 <p>②追肥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養分を吸収する根は、地表近くに多いので追肥の効果が高い。中耕培土は根を切り傷める為に行わない。 			<ul style="list-style-type: none"> ・追肥は6月下旬から3回に分けて施用する。1回の施用量はN成分で6kg程度とする。 <p>4. 収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早掘すると「アクの発生」があるので、茎葉が完全に黄変枯死してから収穫する。 ・後期まで追肥の肥効が強すぎると、澱粉蓄積が遅れ、調理後黒変しやすい。 ・収穫したいものは表皮を傷つけないよう、直射日光、風に当てないようにする。 <p>病害虫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉渋病、炭そ病、ヤマノイモコガ、アブラムシ類の発生に注意し、発生初期に防除を行う。 ・病害については、予防防除につとめ、治療防除の必要の無いようにする。 																					

品目：ながいも

ヤマノイモ科

栽培歴

支店名：

氏名：

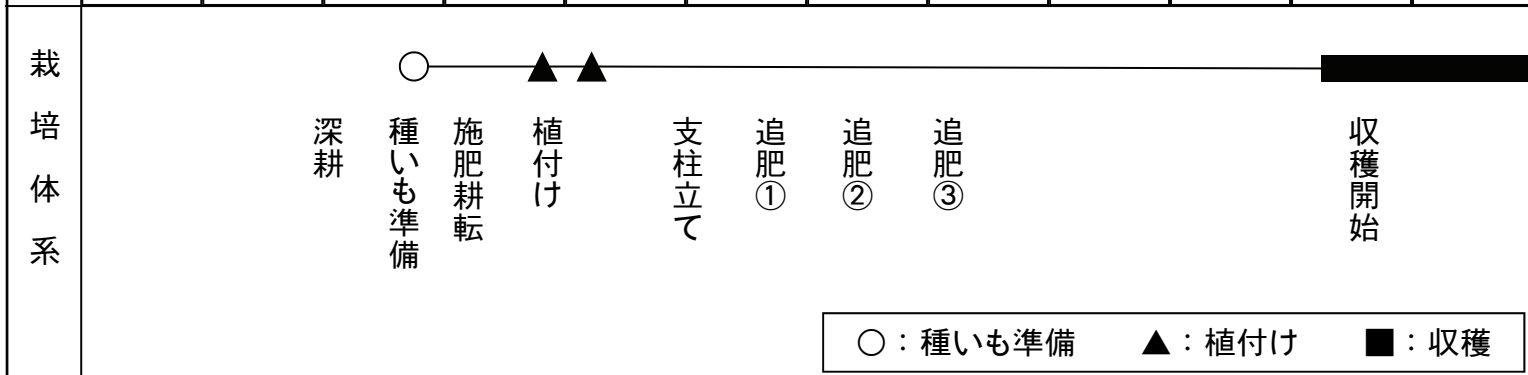
住所：

TEL()

平成22年度版

月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下
----	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------

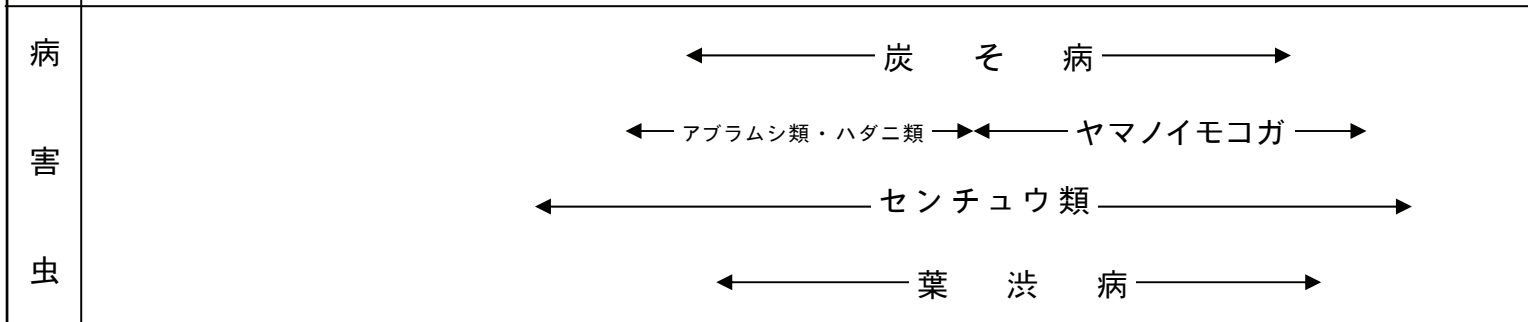
目標収量：4,000kg ~ 3,000kg (10a)
 秀品：90%以上



- 種いも量 340~450kg(10a)
- ・トロフィー種の種いもの大きさは40g前後のものを準備する。
- ・頂芽を付けたまま植付けする。
- 栽植密度
- ・うね幅 110~120cm 株間 15~25cm

施肥基準 (10a)

資材名	基肥(現物量kg)	追肥(現物量kg)
磷加苦土安1号	140kg	
苦土石灰	60kg	
ようりん	60kg	
磷硝安加里S604号 または NK化成808号		120kg



月旬	1 上中下	2 上中下	3 上中下	4 上中下	5 上中下	6 上中下	7 上中下	8 上中下	9 上中下	10 上中下	11 上中下	12 上中下
----	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------

品種名：_____

種いも量：_____ kg

うね幅：_____ cm、株間 _____ cm

栽培面積：_____ a

施肥内容(上記栽培面積の実際の肥料現物量)

	資材名	現物量(kg)	10a換算量
基肥			
追肥			

栽培歴は、その作業の実施月日を記入してください。

○：種いも準備 ▲：植付け ■：収穫